



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

Vol. **60**

No. **23**

第 **2836** 例会
2022年5月24日号

WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2580地区

東京江東ロータリークラブ

2020~2021年度 テーマ

Serve to Change Lives

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
RI 会長 ジュカール・メー 地区ガバナー 若林英博

誓願成就

～願いはかなえよう～
クラブ会長 小嶋映治

今日の卓話

次回例会案内

イニシエーションスピーチ

熊川興亮会員

地区大会

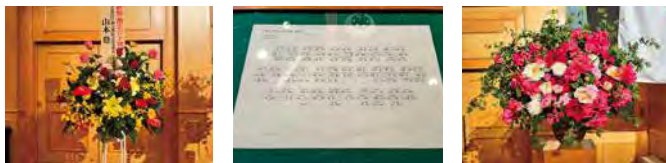
於：ホテルニューオータニ

E-mail : koto.re@sweet.ocn.ne.jp

http://www.koto-rotary.jp

例会報告

5/10 訂正出席率 80.95%
5/17 会員数 21 名中 20 名
出席率 95.24%



☆今週のワンポイントレッスン (No.22)

●ロータリー財団の歴史 ③

1978年

3-Hプログラムを創設。「保険、飢餓追放、人間尊重」補助金により、大規模な人道的取り組みを可能としています。「グローバル補助金」の土台となっています。

1979年

フィリピンで600万人の児童へのポリオ予防接種活動を開始。「なぜポリオなのか」

ロータリーが承認した最初の3-H補助金はフィリピンでの予防接種用にワクチンを購入することが目的でした。同じ頃、天然痘撲滅に関する記事を読んだクレム・レヌーフ国際ロータリー会長は、数人のロータリー会員及び国立衛生研究所の感染症部門責任者のジョン・セバーに連絡し、伝染病の撲滅にロータリーが取り組めるか相談。セバーはポリオ撲滅への取組を勧め、経口ポリオワクチンの開発者であるアルバート・セービン博士との協力を提案。セバーとセービンの両者ともロータリーのポリオ撲滅プログラムに欠かせない存在でした。

ニコニコボックス



原田俊雄様 (東京ベイ RC) : 江東ロータリーの皆様、創立60周年誠にありがとうございます。

小嶋会長 : 皆様、本日東京江東ロータリークラブ60周年御参集誠にありがとうございます。

板倉幹事 : 祝60周年!!

平手副会長 : 今日は60周年、皆さんガンバりましょう!

小野会長エレクト : 本日の60周年記念例会、思い出に残る例会にしましょう!!

末次副幹事 : 祝60周年おめでとうございます。

大島君 : 祝60周年!

伊藤(三)君 : 60周年記念例会を一致団結して心に残る例会にしましょう!

鈴木君 : 60周年おめでとうございます。

伊藤(海)君 : 祝60周年

大澤(秀)君 : 本日皆さんよろしくお願ひします。

大澤(栄) : 祝60周年

菅澤君 : 江東ロータリーの60周年記念に御出席いただきありがとうございます。

青木君 : 祝60周年

河西君 : 祝60周年!!

堀君 : 今日もよろしくお願ひします。

熊川君 : 祝60周年!!

益子君 : 祝60周年

大木君 : 祝60周年

田澤君 : 60周年おめでとうございます。

関口君 : 祝60周年!!

合計 54,000円

累計 1,353,000円

事務局は午前10時から午後16時まで、囲碁や将棋・談話室として利用できます。掲示板も活用してください

●例会場 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト21 東京内 TEL : 03(5683)5683 ●例会日 / 毎週火曜日12時30分~13時30分
●事務局 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト21 東京内 TEL : 03(5632)3777 FAX : 03(5632)3737



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

WEEKLY REPORT 東京江東ロータリークラブ



5月17日

東京江東ロータリークラブ60周年記念例会



■ 会長 / 小嶋 映治

■ 会長エレクト / 小野

■ 幹事 / 板倉 健司



専任しよう みんなの人生を豊かにするために



現代に生きる渋沢栄一

渋沢史料館 顧問 井上 潤 ~受け継ぐべき思想と行動~



新1万円札の顔に決まり、2021年大河ドラマの主人公になった渋沢栄一の事績・考えが国の内外を問わず強く求められ、注目を浴びています。今回の卓話では、今一度、渋沢栄一の生涯を振り返り、なぜここまで注目されるのか、また、今の世の中、そして未来に向けて生きる人たちに与えるヒントはどのようなものかを探っていききたいと思います。

プロフィール

井上 潤(いのうえじゅん)

公益財団法人渋沢栄一記念財団業務執行理事 渋沢史料館顧問

1984年、明治大学文学部史学地理学科日本史学専攻卒業後、渋沢史料館の学芸員となり、学芸部長、副館長、館長を経て、2022年4月より顧問となる。この間、国立民族学博物館共同研究員、神奈川大学日本常民文化研究所客員研究員等も歴任。現在、(公財)埼玉学生誘掖会評議員、(公財)北区文化振興財団評議員、企業史料協議会監事等を務める。

主な著書に『渋沢栄一—近代日本社会の創造者』(山川出版社)、『渋沢栄一—伝—道徳に欠けず、正義を外れず』(ミネルヴァ書房)等がある。

I. いま、なぜ渋沢栄一なのか？

・企業行動の見直しが迫られる中、渋沢栄一のとった行動規範に注目

II. 渋沢栄一 91 年の生涯の中から読み取れるもの

1. 生まれ育った地域の特性、そして家

⇒ 先進性を帯びた地域、地域の中核・まとめ役をなす家

⇒⇒ 当時の環境と実践の中で取得した経済観

- 2. 独特の学問享受 ⇒ 旺盛な好奇心、鋭い洞察力、柔軟な思考、広い視野(総合的判断)
⇒⇒ 幅広い情報収集から指針の決定、的確な情報発信
- 3. 不条理に対する反発
⇒ 「官尊民卑の打破」の芽生え、合理主義(近代)的思考、未来志向の醸成
- 4. 国政への批判 ⇒ 体制内での改革
- 5. 渡欧体験 ⇒ 思想の転換、「新社会」との出会い
- 6. 近代資本主義の基礎づくり ⇒ 官・民でのインフラ整備から産業振興を目指す
⇒⇒ 「合本(がっぽん)法」「道徳経済合一説」の実践、普及
- 7. 日本の国際化を促進 ⇒ 日本の位置づけを意識
- 8. 社会福祉の整備 ⇒ 偶然から必然の事業へ
- 9. 教育・文化の整備
⇒ 国づくりのための人づくり、伝統の維持、そして模倣から創造へ

事務局は午前10時から午後16時まで、囲碁や将棋・談話室として利用できます。掲示板も活用してください

●例会場 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト21 東京内 TEL: 03(5683)5683 ●例会日 / 毎週火曜日12時30分~13時30分
●事務局 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト21 東京内 TEL: 03(5632)3777 FAX: 03(5632)3737



専任しよう みんなの人生を豊かにするために

WEEKLY REPORT 東京江東ロータリークラブ

Ⅲ. 渋沢栄一の現代的意義

1. 道徳的な考えを持って正しく利益を求めることにより、産業活動を活発化させる

必要性を説き、実行した人物として

2. 今後の世界を考える上で、中国古典にある教えや東洋の伝統を新しい視点で見直

そうとする時に、『論語』の教えを規範にした人物として

3. 本当の意味での社会貢献活動を実行した先駆者として

4. 将来をしっかりと見すえ、しっかりとビジョンを持ったリーダーとして

5. 高齢社会の模範的な人物として

Ⅳ. 単なる実業家でない「近代化のオーガナイザー」、

「公益の追求者」・渋沢栄一

・渋沢栄一の行動から見出せる信念：



政治に対する経済の優位

「公益」の視点に基づく民間の活動が、政府「官」の活動を補充するだけでなく、むしろ先導すべきものである。⇒日本の発展、国際社会への貢献

☆ 渋沢栄一とロータリー・クラブ

・1924(大正13)年2月18日：日本ナショナル・ロータリー・倶楽部創立記念日晩餐会出席・演説(東京銀行倶楽部)

・1924(大正13)年11月23日：東京市養育院巢鴨分院「ロータリー館」竣工披露会

・1927(昭和2)年10月5日：東京ロータリー・倶楽部へ出向(東京会館内)

・1929(昭和4)年9月16日：東京ロータリー・クラブの招待により、東京市養育院巢鴨分院児童並に井之頭学校生徒、多摩川園に遊ぶ。同園に赴き、謝辞・訓話

